



動物レスキュー通信

2015年12月 第31号 (平成27年12月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長

愛玩動物飼養管理士 一級

お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ネコちゃん 好きな撫でられ方

嫌いな撫でられ方



私たち人間は、普段、不安な気持ちになっている人を見たとき、背中をさすってあげること、その不安を抑えてあげようとすると思います。人間にとっても近いサルも、人間と同じように背中をさすり合っている姿を動物園などで見かけた事があるのではないでしょうか？私は人間ですので、猫の背中やお腹をなでたり、さすったりするのが大好きです。それだけではなく、喉や頭も撫でるのが大好きです。あなたのお家のネコちゃんも撫でられることが好きですか？それとも嫌いですか？

なぜ豹変するの？

撫でられることが大好きで、飼い主さんの膝の上にちょこんと座り、長い間撫でてもらう猫ちゃんがいる反面、飼い主さんの膝の上は大好きだけれど、飼い主さんが撫でようと手を伸ばすと一目散に逃げ去ってしまうネコちゃんもいます。撫でられること自体は好きでも、お腹や背中をなでられるのは大嫌い、と言う猫ちゃんもいるはずです。どこを撫でられるのも大好きなネコちゃんでも、しばらくはおとなしく撫でられていたのに、もかかわらず、突如として撫でている飼い主さんの手を引っかいたり、噛みついていたりして、威嚇してしまふことがあるのではないのでしょうか。実際に私はそんな経験があります。そんな時のネコちゃんは、噛む力を加減している場合も

ありますが、飼い主さんがひどい怪我をおこしてしまうほど強く噛んだり、引っかいたりしてしまふ場合があります。そんな時、飼い主さんは、「突然どうしたんだらう？」「なんで急に噛むんだらう？」と不思議に思い、悩んだり悲しんだりしてしまふはずです。しかしネコちゃんのこのような振る舞いは、決して異常なことでも病的な事でもありません。猫としての本能である攻撃行動が様々な学習をする事によって助長されていった可能性が高いのです。最初は撫でてもらう事が気持ちよかつたけれど、繰り返し長時間撫でられることで、興奮したり、痛みを感じたり、不快に感じたのかもしれない。そしてその時、飼い主さんはネコちゃんが突然暴れ出した、と思ってしまうのですが、そうではなく、ネコちゃんはその行動の直前にソワソワとはじめたり、耳をピクピクと動かしたり、体がこわばったり、耳が動いたり、唸るなど警告を出しているのに、飼い主さんがそれらの警告に気づいていない可能性があるのです。そしてネコちゃんは、飼い主さんを実際に攻撃することで、飼い主さんの手が猫ちゃんから離れ、撫でることが終わると言いつつ経験により、噛み付いたり引っ掻いたりすれば自分にとっての嫌な事が終了する、ということを学習してしまい、次からはやめてほしい時に噛んだり引っ掻いたりしてしまふようになることがあります。このようになつてしまつたネコちゃんに対しては、ネコちゃんの行動をきちんと観察し、警告が行われるとすばやく撫でるのを止めるよう

に心がけることです。そして多頭飼いの方はネコちゃん同士のグルーミングを観察するとわかると思いますが、ネコちゃんがお互いを舐め合う時はお互いの首から上の部分を舐め合い、背中などの首から下の部分を舐め合う事は、ほとんどありません。そのためネコちゃんは背中よりも首の周りや耳の付け根、頭などを掻くように撫でられることが大好きなのです。特にこの部分には「臭腺」と呼ばれる臭いを出す器官をもつていて、これを自分の縄張りや所有物に付ける行動をします。ですから飼い主さんがネコちゃんを「ニギニギ」を取るときにどうしても撫でてあげたいと思つたときには、背中やお腹をなでるのはぐつと我慢して、おでこの部分を掻くように撫でてあげるなど、首から上の部分をネコちゃん同士が舐め合うように撫でてあげる方がネコちゃんは喜ぶようです。それでも触られる事や、撫でられる事、もしくは抱っこされる事を極端に嫌がったり、威嚇してくる場合は、飼い主さんが気付かないうちに怪我をしていたり、病気でどこか痛いところがある可能性があります。そんな時はネコちゃんが落ち着いている時に、無理やりではなくそつと優しく観察してあげてください。それで怪我などが見つかればもちろん動物病院へ連れて行ってあげてください。ネコちゃんの異常を見つけた事ができなくても、今までは平気だったのに、あまりにも触られる、撫でられるなどを嫌がる事が続く場合は獣医さんに診てもらってください。何事も早期発見が大切です。

様々な知識を発信する事によって人間の意識が変わり、殺処分が少しでも減ると信じて活動しております。(詩月)